

永代経法要の荘厳
「清掃 お磨き 立花」



四月に入ると急に慌ただしくなります。御本尊の屋根にたくさん積もった埃をダイソンで吸取り、真鍮の具を洗います。日には真鍮の具を磨き、月末には花を立で終わりました。

今年四月は、ご法事で本堂を利用される方が多く、その合間を縫って準備を進めました。綺麗に飾られた本堂で参詣の皆様をお迎えすることができます。ホッと致しました。お手伝いを頂きました方が心より御礼を申し上げます。ありがとうございました。



後継者問題が深刻になってきました。

待ちわびた桜の開花も満開の水が舞い、残念でもした。鶴舞公園、平和公園、四月一六日、例年、東照宮舞楽奉納も無事に勤まりました。例年、永代経準備と重なる時期に練習、本番と重なるので、年々、精神的負担が大きくなっていくように感じます。楽長羽塚先生は八六歳です。師匠が現役で頑張つてみえるので、我々直弟子としては辞退することはできません。しかし、今の若い世代の人々は、そのような義理を感じて奉仕する意識に欠け、



